

特定公共賃貸住宅入居申込書

あさぎり町長 様										年 月 日	
次のとおり、特定公共賃貸住宅に入居したいので、申し込みます。											
なお、この申込書に虚偽があるときは、無効とされても異議を申しません。											
(フリガナ).....										氏名.....	
現住所							希望団地名				
電話番号			携帯電話								
勤務先	名称.....										団地
	所在地.....										団地
	電話番号 — —										
	氏名 個人番号	性別	生年月日	年齢	続柄	扶養	寡婦等	障害等級	勤務先等	年間所得金額	
本人	円	
同居親族								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
別居扶養家族								TEL.....	円	
								TEL.....	円	
B 所得控除額	同居親族	特定扶養 16歳以上～ 23歳未満	老人扶養 70歳以上	障害者 3～6級	特別障害者 1～2級	寡婦	ひとり親	A所得合計			
	38万円	25万円	10万円	27万円	40万円	27万円	35万円	円			
	×人	×人	×人	×人	×人	×人	×人				
	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	B控除額合計			
注意										C=A-B	
○(太線)の枠内のみ記入してください。											
○申込者及び同居親族の中に暴力団員がいる場合は、入居できません。										円	
○申込者及び同居親族が暴力団員であるか否かを確認するために、警察に照会する場合があります。										D=C÷12	
○裏面に住宅困窮の現況欄がありますので必ず記入してください。											
○裏面に抽選会の要領を記載しておりますので必ず熟読ください。										円	

住宅困窮の現況

住宅困窮の現況について、次に該当する記号に○を付けてください。

また、その状況をご記入ください。

*現在お住まいの住居の種類をおしえてください。【 持家(どなたの?) ・ 借家 】

ア	住宅以外の建物又は場所に住んでいる。 ()
イ	保安上危険又は衛生上有害な状態の住宅に住んでいる。 ()
ウ	他の世帯と同居して生活上著しく不便である。 ()
エ	住宅がないため親族と同居できない。 ()
オ	住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上・風教上不適当な居住状態である。 ()
カ	正当な立退き要求を受けているが立退き先がない。 ()
キ	勤務先から著しく遠隔地に住んでいる。 ()
ク	収入に比較して現在の家賃が著しく加重である。 ()
ケ	その他()

※抽選会要領

- 抽選会は、希望団地毎に待機順番を決める抽選を行います。
- 希望団地を、おもての希望団地名の欄に2か所まで必ず記入ください。
- 申込者がいない団地がある場合は、全体抽選も行います。
- 抽選結果の有効期限は令和7年10月末日までとなります。
- 特定公共賃貸住宅に空き家が発生した場合の入居可能な特定公共賃貸住宅一覧は別紙のとおりとなっています。